



TITLE:

ハイライト : 写真で見る環境保全

AUTHOR(S):

CITATION:

ハイライト : 写真で見る環境保全. 環境保全 2018, 32: 2-6

ISSUE DATE:

2018-03-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/232669>

RIGHT:

京大キャンパスで6年目のグリーンカーテンプロジェクト

☞ グリーンカーテンプロジェクトについては、エコ宣言WEBサイト(<http://eco.kyoto-u.ac.jp/>)内の「ゴーヤブログ」でも詳しくご覧頂けます。本ページの写真は、学内外の里親の皆様からご提供頂いたものです。

環境科学センターで種から育てたゴーヤを、希望者(里親)にお配りして、育てて頂こうという取組です。学内の落ち葉で作った堆肥もあわせて、ご活用頂いております。平成29年度は自宅も含め里親53カ所(31部局)、244苗を提供し、16カ所から写真をいただきました。新しく参加される方が多い反面、6年連続植えておられる所が1カ所ありました。



桂キャンパス事務棟



理学研究科(学生)



舞鶴水産実験所



農学研究科



附属病院(自宅)



工学研究科(自宅)

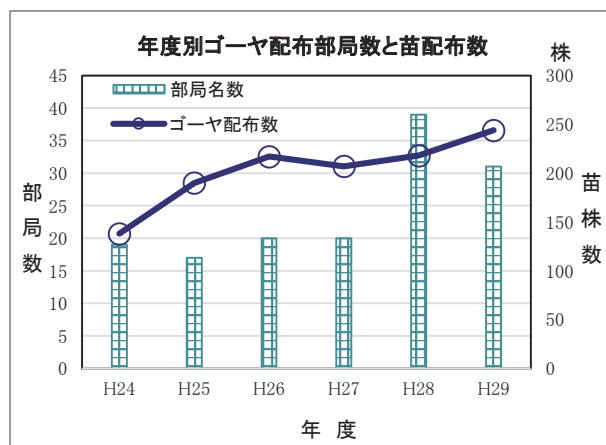


学際融合教育研究推進センター 腐葉土で土づくり



ゴーヤ苗の配布状況

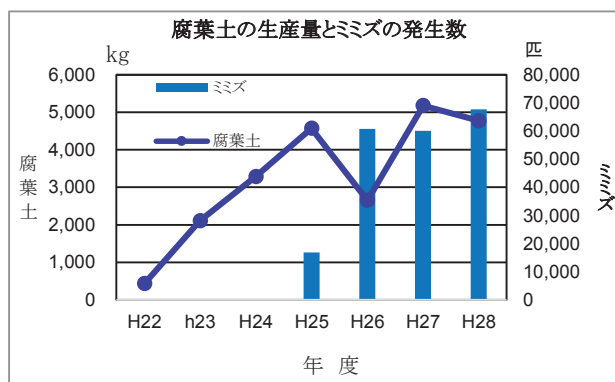
例年初めてゴーヤを植える方は多い反面、連続して植える方が少ない傾向があります。グリーンカーテンの主旨から言えば継続していただくことを望んでいます。右のグラフのように苗の配布数は増える傾向とともに、**1カ所あたり5株10株と多くの苗を希望される方が増えています。**



腐葉土の生産量とミズの発生数

学内の落葉の腐葉土化は**7年前**より行っており、これまで約**23t**作成し希望者に配布しています。その際発生するミズも**4年前**より約**21万匹**採取しています。(右図)

腐葉土は園芸用に、ミズは生ごみの処理用に利用していただけます。常時用意しておりますので希望者は環境科学センターまで連絡下さい。



有機廃液処理装置の解体状況

1974年に完成した有機廃液処理装置が**2013年**まで稼働し、平成**29年度**予算で写真のように解体工事を行っています。これまでの運転日数は**3,311日**、有機廃液処理量は約**154万リットル**でした。(下図)



解体前



ダイオキシン等の飛散対策として密閉状態にして作業を行っています。

他団体との連携が花開いた「エコ〜ると京大」2017

全員参加型で環境負荷を低減した、持続可能なキャンパスの実現を目指している京都大学。多くの方に参加してもらいイベントを「エコ〜ると京大」として展開しています。2017年度は主に次のような取組を行いました。

- ＊4月6日「伝統だし汁でエコ・クッキング！」ワークショップ・・・新入生や留学生向けに
- ＊5月・・・竹の活用 & ガーデン化プロジェクトを展開
- ＊6月「初夏の陣」・・・環境意識・行動の底上げを目的に、イベントを展開
- ＊6月・・・京都議定書20周年、京都大学120周年を記念した持活プロジェクトを展開
- ＊12月23日・・・着物復活企画「Kistory」のお披露目企画を実施
- ＊京都大学総長ブルーシーフードカレーのお土産化検討
- ＊その他、シンポジウム等への参加や視察旅行、勉強会等を実施

2017年4月6日「伝統だし汁でエコ・クッキング！」ワークショップ



2017年6月 エコ〜ると京大・初夏の陣



恒例のオープンラボ(ルネ)は、先生やメンバーとの直接対話やWSで好評

浴衣の着付け教室

竹の活用とガーデン化



桂キャンパスにて、筍堀と竹の伐採

その竹を活用して作成したガーデン構造物(総合研究5号館前)と記念イベント



2017年12月23日 着物復活企画「Kistory」



持活(じかつ)プロジェクト



17項目もある！
どれどれ？！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



いくつかのアプローチへ

持活生活実践！

17項目を、生活の中で実践してみる。ノートにつけたり、防災グッズを備えてみたり...



原点から勉強

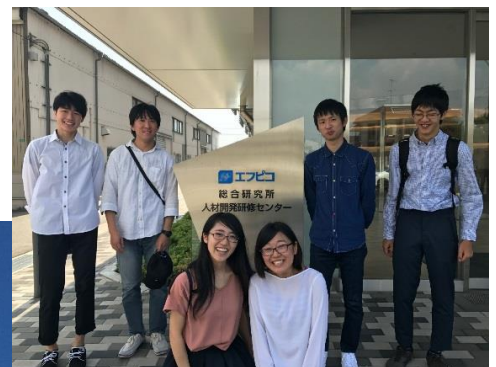
持続可能性とは？環境問題とは？17項目間の関係は？各項目の指標と特性は？日本の実態は？書籍や専門家インタビューなどで勉強、勉強、議論、議論！



年度のまとめへ

社会の現場へ

ものづくり、福祉、エネルギー等々の現場を学びに、広島や佐賀へ！



私たちの勤める17のアクション